

# 校長室より

令和8年度 4月号

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

桜の花がほころび、春の光が校舎にやわらかく差し込む季節となりました。保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本年度も引き続き校長を務めさせていただきます植野博之です。



和歌山大学教育学部附属特別支援学校としての令和八年度が始まり、全校児童生徒五十六名が新たな学年を迎えます。期待と緊張が入り混じる中、それぞれが自分のペースで一步を踏み出してほしいと願っています。本校では今年度も、教育目標である WFT — Wish (夢と希望)・Fellow (仲間と共に)・Try (挑戦する) — を大切に、子どもたち一人ひとりの学びと成長を丁寧に支えてまいります。

自分の願いを大切に、仲間とつながり、できることを少しずつ広げていく。その積み重ねが子どもたちの自信となり、未来を切り拓く力へとつながります。今年度も、子どもたちが「やってみたい」と思える場面を増やし、その思いに寄り添いながら挑戦を後押ししていきます。

また、本校ではこれまで「レジリエンス」をテーマに研究を進めてきました。自分の今と将来を楽しみにできる子に育っていくために、自己理解や他者理解を深め、自分の強みを活かしながら、困難に出会っても竹のようにしなやかに回復できる子どもたちであってほしいと願っています。

春は環境の変化が大きく、子どもたちの心が揺れやすい時期でもあります。教室の雰囲気、先生や友だちとの関わり、生活リズムの変化など、慣れるまでに時間が必要なこともあります。本校では、安心して過ごせる環境づくりを第一に、丁寧な声かけや見守りを通して、子どもたちが「ここなら大丈夫」と感じられる学校づくりを進めてまいります。

さらに今年度は、本校にとって大きな節目となる創立 50 周年記念事業を 12 月に予定しています。これまで本校を支えてくださった多くの皆さまへの感謝を胸に、子どもたちの成長を地域と共に祝い、未来へつなぐ機会にしたいと考えています。50 年の歩みを振り返りながら、次の 50 年に向けて、WFT の精神をより確かなものにしていく一年にしたいと思います。

保護者の皆さまには、今年度も引き続き、子どもたちの成長を共に喜び合い、温かく見守っていただければ幸いです。学校と家庭が同じ方向を向き、子どもたちの挑戦を支えることで、子どもたちの可能性はさらに広がっていきます。

新しい一年が、子どもたちにとって実り多く、希望に満ちた時間となりますよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

学校長 植野 博之